

兵庫医科大学 研究実施のお知らせ

本学で実施しております以下の研究についてお知らせ致します。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて学生の皆様にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも成績に影響することはなく、不利益が生じることはありません。

研究課題名	看護系大学生が捉える自己の強み、弱みの特徴と教育支援方法の検討 [管理番号：202404-070]
研究責任者氏名	橋本 ころこ
研究機関長名	兵庫医科大学長 鈴木 敬一郎
研究期間	2023年1月19日 ~ 2025年3月31日
研究の対象	2022年9月26日～2023年2月17日までの老年看護学実習を受け、「自己課題表」を提出した看護学部3年生の方
研究に用いる 試料・情報の種類	自己課題表 取得の方法：2022年9月26日～2023年2月17日までの老年看護学実習で提出されたもの
研究目的・意義	<p>本研究の目的は、看護系大学生（以下、学生）の捉える強み、弱みの特徴を明らかにし、学生の特徴に応じた効果的な教育支援方法の示唆を得ることです。</p> <p>臨地実習は知識・技術を臨床現場で統合する大きな役割を担い、抽象的な概念を具体的で直接的な体験に変換し、看護の魅力の発見や看護の理解を深めるだけでなく、看護学生の達成感や自信を高め、課題を明確にして、自身の未来像を描くに役立つと考えられています。しかし、学生は臨地実習へ対し大きな不安やストレスに関連した研究報告が数多くあります。</p> <p>そのため、学生に関わる教員は学生自身が捉える「できること（強み）」、「できないこと（弱み）」の特徴を十分に理解し、具体的な助言や指導することが求められると考えます。その関わりにより、学生が抱く臨地実習の不安やストレスを和らげ、効果的な学修につながり、学生は自己受容や、自己を肯定的に捉えることにつながり、人間性や価値観の形成、自律的な学修行動をとることができるようになることが期待されます。</p>
研究の方法	2022年9月26日～2023年2月17日までの老年看護学実習で提出された「自己課題表」を用いて、主に あなたの強み あなたの弱みに記載されている内容を用いて質的に研究を行います。分析方法は、抽出したデータの意味

	を解釈し、コード名をつけ、その類似性によりカテゴリ化を行います。 なお、研究参加の諾否による成績等への影響はありません。
外部への試料・情報の提供	特定の関係者以外がアクセスできない状態で、共同研究機関である園田学園女子大学と共有します。対応表は、本学の研究責任者が保管・管理します。
研究組織	研究代表機関 兵庫医科大学 看護学部 助教 橋本 ころろ 共同研究機関 園田学園女子大学 人間健康学部 准教授 山田 千春
個人情報の取扱い	収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。
本研究に関する連絡先	担当者氏名：看護学部 老年看護学分野 橋本 ころろ [電話] 078-304-3041 [メールアドレス] ko-hashimoto@hyo-med.ac.jp 対応時間：平日 9～17 時